

花子さんと太郎君は、総合的な学習の時間に、神奈川県の森林について、クラスのみんなに発表する準備をすることになりました。〔会話文〕、〔資料1〕～〔資料4〕を読んで、あとの各問いに答えましょう。

〔会話文〕

先生：神奈川県の特ちょうについて調べましたか。

花子：神奈川県は、全国47都道府県の中で土地の面積が5番目に小さく、2416km<sup>2</sup>です。

太郎：人口は、令和元年5月1日時点で9197925人と全国で2番目に多い県です。

先生：それでは、今日は神奈川県の森林について、詳しく調べましょう。

〔資料1〕

神奈川県の森林の面積は、年々少なくなってきた、現在では県全体の約39%（平成25年）となっています。

森林は、木材を生産するほかに、緑のダムとよばれ、水源や自然環境を守る大切な役割を果たしています。

一度人間の手の加わった森林は、手入れをしないと荒れてしまうので、県では自然環境を壊さないような方法で林道をつくり、手入れをする手伝いをしています。

〔資料2〕

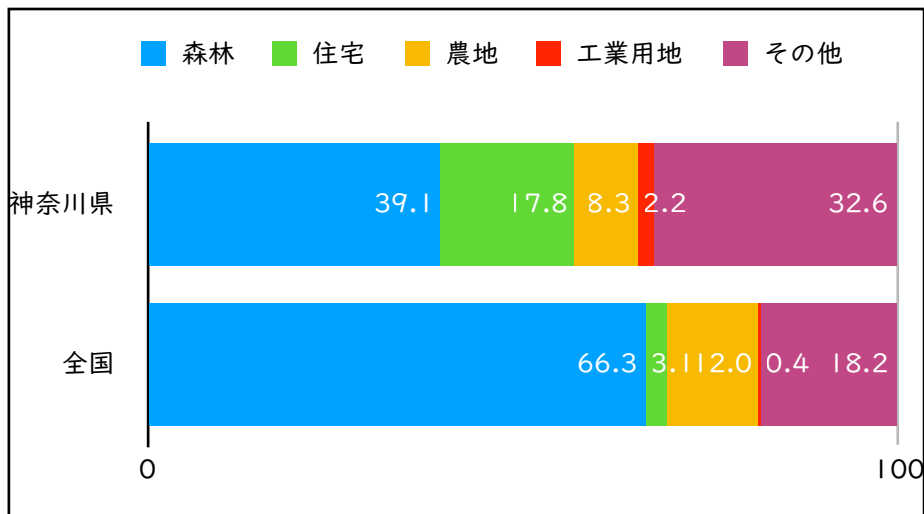
私たちの郷土神奈川は、県土面積の39%が森林におおわれており、1人あたりの森林面積は104m<sup>2</sup>となっています。これは全国平均と比べ、非常に少ない数値となっています。この貴重な森林の多くは水源地域に位置しており、清浄な水や空気を育む母体として、県民一人ひとりの生活にとって、かけがえのない「生命の源泉」とも言うべき重要な役割を担っています。

〔資料3〕

森林にたくさんの二酸化炭素を吸いこんでもらうためには、山に木を植えたり、しっかり手入れしたりして、元気な森林をつくらなければならないんだ。

1本の元気なスギの木は、1年で14kgの二酸化炭素を吸いこんでくれる。これは車1台が出す量を160本のスギの木で吸いこんでしまう計算になる。元気な森林は、これだけじゃなく、土の中にたくさんのすき間があってスポンジみたいにたくさんの水をたくわえてくれる。だから、洪水や水不足を防ぐ「緑のダム」になる。それに、しっかりと根を張って土や石をつかんでいるから、土砂崩れも防いでいる。強い風を防いだり、水や空気をきれいにする働きもあるんだ。

〔資料4〕 神奈川県土地利用の様子



〔問題1〕

〔会話文〕、〔資料1〕～〔資料4〕の内容として、あてはまるものを次の①～⑤の中からすべて選びなさい。

- ① 1年で160本のスギの木が吸いこむ二酸化炭素の量は14kgになる。
- ② 神奈川県は人口が多く、土地利用は全国平均と比べて住宅や工業用地の割合が大きく、森林の割合が小さい。
- ③ 神奈川県の土地の面積は、全国の都道府県の中で、大きい順で第43位である。
- ④ 神奈川県では森林を守るために、住宅や工場をできるだけつくらないようにし、森林面積を増やしている。
- ⑤ 神奈川県では、一度人間の手が加わった森林をそのままにして、回復するのを待っている。

〔問題1〕

## 解答

### [問題1]

①は資料3に「1本の元気なスギの木は1年で14kgの二酸化炭素を吸い込む」とあるので誤りです。

160本のスギは $14 \times 160 = 2240\text{kg}$ の二酸化炭素を吸い、それが車1台が出す量のこと。

②は会話文に「人口は全国で2番目に多く」とあり、土地利用については資料4より、森林が全国66%：神奈川39%、住宅が全国3%：神奈川18%、工業用地が全国0%：神奈川2%なのであてはまります。

③は会話文に「47都道府県で5番目に小さく」とあり、それは大きい順で $47 - 5 + 1 = 43$ 番目にあたるのであてはまります。

④については特に書かれていません。

⑤は資料1で「一度人間の手の加わった森林は、手入れをしないと荒れてしまうので…林道を作り…」とあるので、誤りです。

よって、②と③